カリキュラム区分	5カリ	シラバス区分	大学院

科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門共通	M301	1年	後期	医療技術科学	選択	臨床検査技術学特論 Advanced Study in Technology of Laboratory Medicin	30	2

担当教員					
美間　健彦	岡村　法宜	祇園　由佳			

	関連するDPキーワード（看護学専攻）
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

	関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）
○	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。
○	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

授業目的

臨床検査の現場において、最新の知見に基づくより適切で詳細な検査情報等を提供できるようになるために、講義を通して、生理学・血液学・微生物学における科学的に検証された新しい検査技術に関する知識を修得する。

到達目標（授業目標）

① 生理学・血液学・微生物学における新しい検査技術およびその原理を説明できる。
② 生理学・血液学・微生物学における検査技術の問題点を抽出し、その解決法を考察することができる。

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	微生物学検査（総論）：微生物の種類と特徴について講義する。：美間　健彦
2回	微生物学検査（抗菌薬と薬剤感受性試験）：抗菌薬の種類と特徴および薬剤感受性試験について講義する。：美間　健彦
3回	微生物学検査（薬剤耐性菌とその検査）：薬剤耐性菌の種類と耐性機構およびその検査法について講義する。：美間　健彦
4回	微生物学検査（迅速検査）：微生物の迅速検査技術について講義する。：美間　健彦

5回	微生物学検査（遺伝子検査）：遺伝子検査技術を用いた微生物検査について講義する。：美間　健彦
6回	生理学検査（総説）：生理学検査の特徴と意義について講義する。：岡村　法宜
7回	生理学検査（電気生理学検査）：電気生理学検査技術と応用について講義する。：岡村　法宜
8回	生理学検査（画像検査）：各種画像検査の意義と特徴について講義する。：岡村　法宜
9回	生理学検査（電気生理学検査と画像検査の融合）：両検査法の利点を生かし、欠点を補完する方法について講義する。　岡村　法宜
10回	生理学検査（研究応用）：生理学検査の研究応用について講義する。：岡村　法宜
11回	血液学検査（概要）：代表的な造血器腫瘍について講義する。：祇園　由佳
12回	血液学検査（概要）：造血器腫瘍における検査の概要について講義する。：祇園　由佳
13回	血液学検査（分子発現解析）：造血器腫瘍の診断に必要な分子発現解析技術について講義する。：祇園　由佳
14回	血液学検査（遺伝子検査）：造血器腫瘍の診断に有用な遺伝子解析技術について講義する。：祇園　由佳
15回	血液学検査（研究応用）：最新の知見と解析技術を踏まえた研究応用について講義する。：祇園　由佳
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

レポート（美間分40%、岡村分30%、祇園分30%）で評価する。60点以上を合格とする。

教科書	論文およびプリントを配付する。
参考図書等	

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

前回の項目について配布プリントおよび参考図書・文献等を参考に復習する。次回の項目について参考図書・文献等を参考に予習する。

関連科目

前科目	M302	医療技術科学研究方	M303	医療技術科学研究方							
後科目	M322	特別研究Ⅰ	M323	特別研究Ⅱ							

実務家教員

備考	